

社団法人日本心理学会研究集会等助成金成果報告書

<p>代表者氏名 (ふりがな)</p>	<p>宇井 美代子 (うい みよこ)</p>	<p>所属</p>	<p>東京福祉大学</p>
<p>研究集会等名称</p>	<p>日本心理学会ジェンダー研究会・デートDV研究部会</p>		
<p>成果概要</p>	<p>1) 参加人数</p> <p> 会員 8名(うち認定心理士 名) 非会員 10名(うち認定心理士 名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等</p> <p> 2010年度の研究集会として、①学会でのワークショップの開催、②東京フェミニストカウンセリングセンター所長の平川和子先生による研修会(「デートDV最前線における支援の実状」)を企画していた。しかし、東北太平洋沖地震の影響により、学会については会場が東京であったため、「大会は成立したものとするが、開催期間に会場には参集しない」という措置がとられた。また、平川先生の研修も同様に関東での実施であったため中止となった。</p> <p> よって、その代替として、2011年3月25日に仁愛大学において、以下の公開研究集会を実施した。</p> <p>○ 日本心理学会・ジェンダー研究会・デートDV研究部会 公開研究集会</p> <p>日 時： 平成23年3月25日(金) 14時30分～16時30分</p> <p>場 所： 仁愛大学 F棟 201教室</p> <p>内 容： 企画・司会 赤澤淳子(仁愛大学)</p> <p> 話題提供 松並知子(羽衣国際大学)</p> <p> 「自己愛とデートDVの関連」</p> <p> 井ノ崎敦子(帝塚山大学)</p> <p> 「愛着の様態とデートDVの被害・加害経験の関連」</p> <p> 上野淳子(四天王寺大学)</p> <p> 「性に対する態度およびパートナーとの関連性とデートDVの関連」</p> <p> 指定討論 青野篤子(福山大学)</p> <p>参加者数： 18名</p> <p>○今後は、研究部会として成果の公表と研究の継続発展に努めたい。</p>		